

3-2 復興公営住宅の入居意向

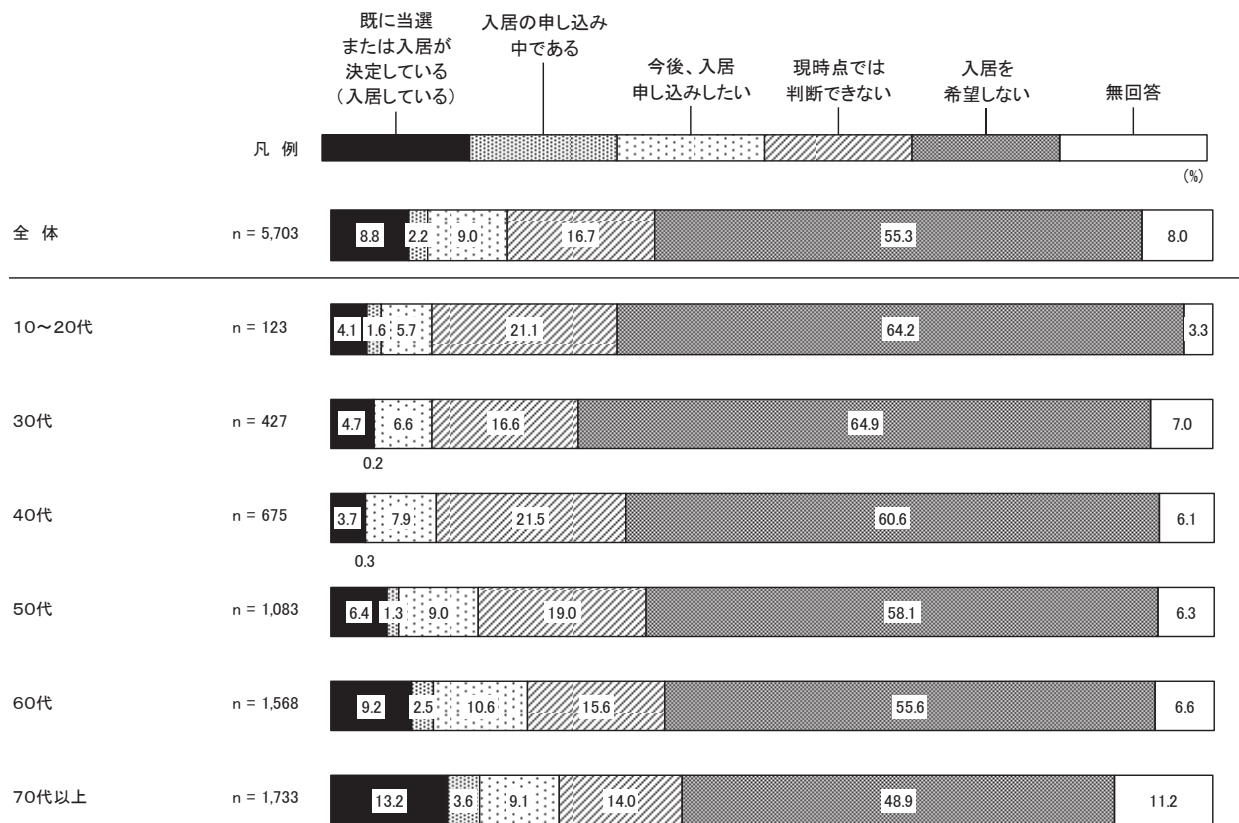
3-2-1 復興公営住宅への入居意向

問9 現在、福島県が復興公営住宅の整備を進めています。あなたの世帯は、福島県内に整備を進めている県の復興公営住宅への入居を希望しますか。(〇は1つ)

復興公営住宅への入居意向については、入居を希望しない世帯が55.3%と最も高く、次いで、現時点では判断できない世帯が16.7%、入居意向のある世帯(「既に当選または入居が決定している(入居している)」、「入居の申し込み中である」、「今後、入居申し込みしたい」)が20.0%となっている。

回答者の年齢別にみると、入居意向のある世帯(「既に当選または入居が決定している(入居している)」、「入居の申し込み中である」、「今後、入居申し込みしたい」)は、年齢が高くなるにつれ割合が高くなっている。

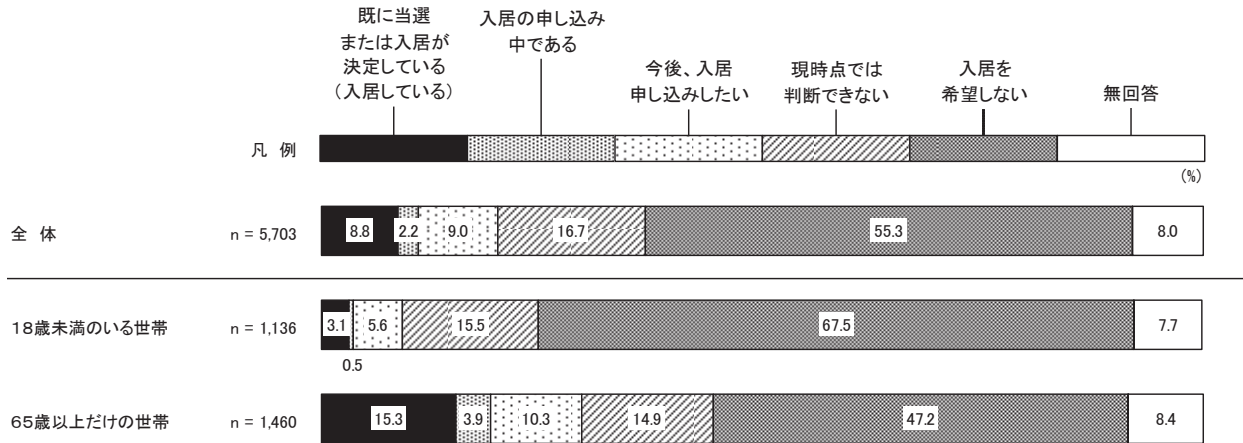
<図表3-2-1-1 復興公営住宅への入居意向(年齢別)>



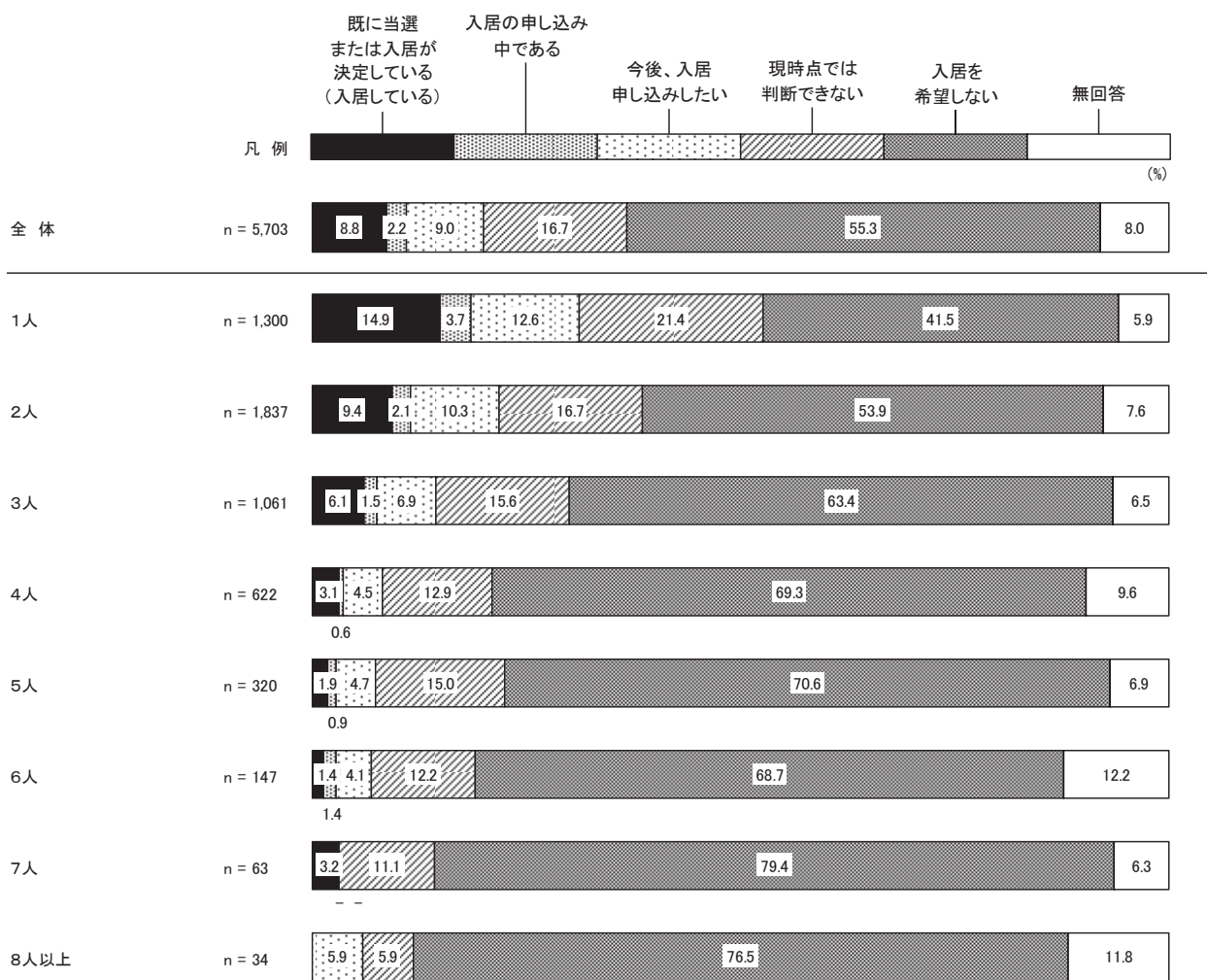
現在の世帯構成別にみると、「入居を希望しない」は18歳未満のいる世帯で67.5%と高くなっている。一方、65歳以上だけの世帯では、入居意向のある世帯（「既に当選または入居が決定している（入居している）」、「入居の申し込み中である」、「今後、入居申し込みしたい」）は29.5%となっている。

現在の世帯人数別にみると、「入居を希望しない」は概ね人数が多くなるにつれ高くなっており、7人以上では約8割となっている。一方、「今後、入居申し込みしたい」は1人が12.6%と最も高く、概ね世帯人数が多くなるにつれ低くなる。

<図表3-2-1-2 復興公営住宅への入居意向（世帯構成別）>

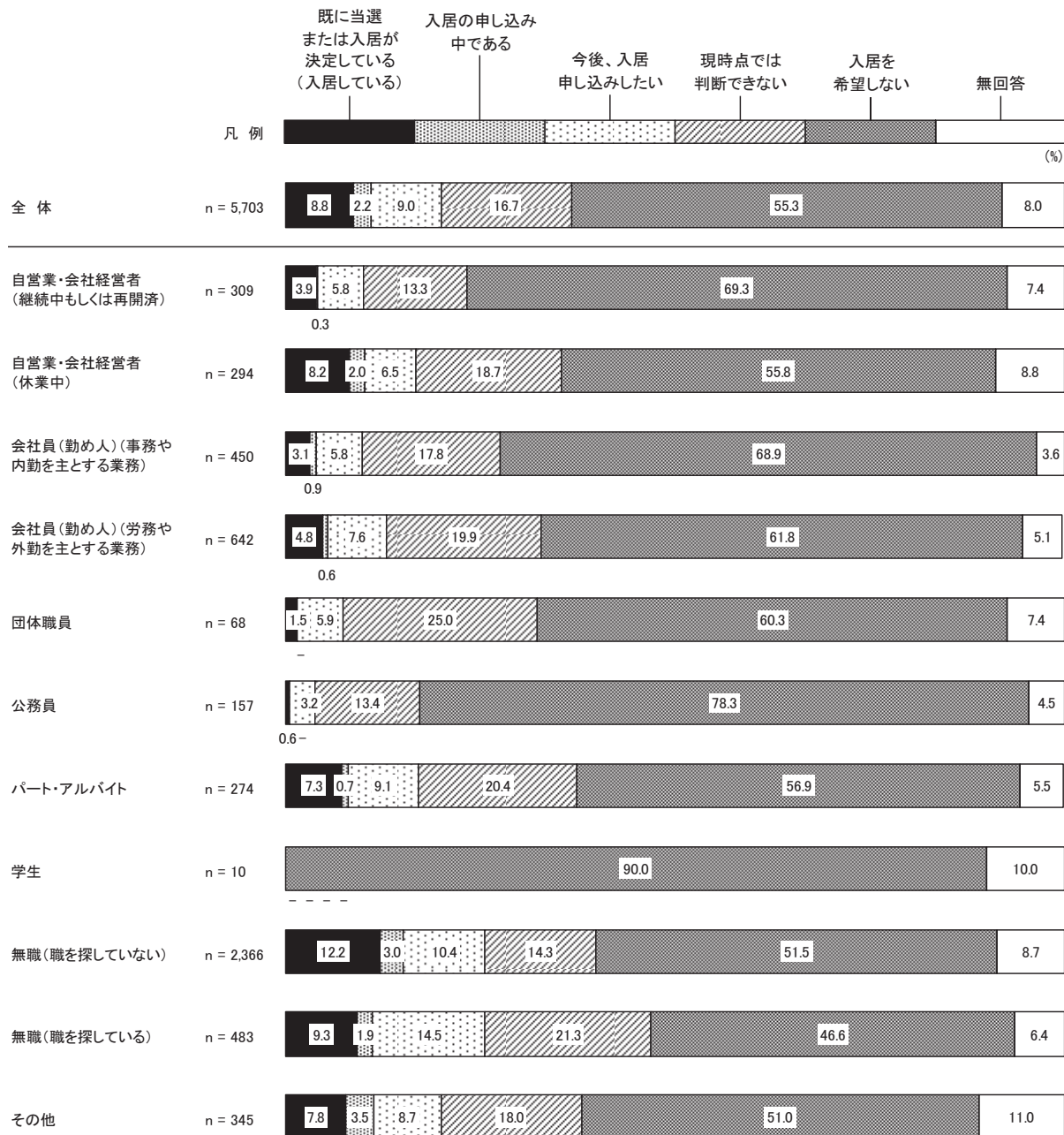


<図表3-2-1-3 復興公営住宅への入居意向（世帯人数別）>



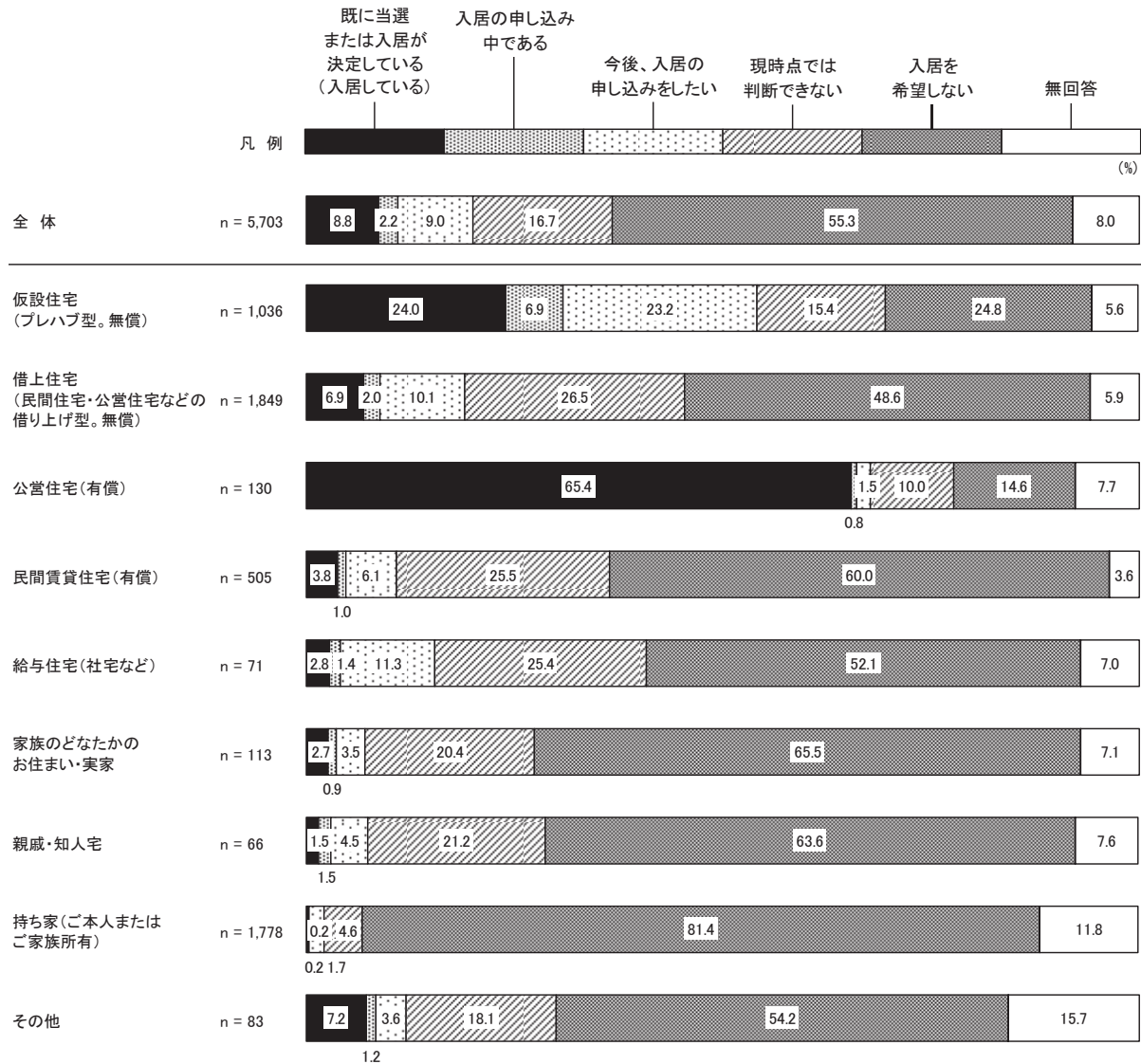
職業別にみると、「入居を希望しない」は公務員が78.3%となっており、他に比べ高くなっている。「今後、入居申し込みしたい」は無職（職を探している）が14.5%となっており、他と比べ高くなっている。

<図表3-2-1-4 復興公営住宅への入居意向（職業別）>



現在の住居形態別にみると、「入居を希望しない」は持ち家（ご本人またはご家族所有）（81.4%）が、「今後、入居の申し込みをしたい」は仮設住宅（プレハブ型。無償）（23.2%）が、他の住居形態と比べ高くなっている。また、「既に当選または入居が決定している（入居している）」は、公営住宅（有償）で65.4%となっており、他の住居形態と比べ高くなっている。

<図表3-2-1-5 復興公営住宅への入居意向（現在の住居形態別）>



3-2-2 復興公営住宅への入居を希望する自治体と世帯構成

【復興公営住宅へ既に当選または入居が決定している（入居している）方、入居の申し込み中である方、今後、入居申し込みしたい方（問9で「1」、「2」、「3」と回答した方）にうかがいます。】

問9-1 入居が決定している（入居している）、入居を希望する、または申し込みを行っている復興公営住宅の地域（市町村名）、入居する際の家族構成についてお聞かせください。

※家族が多い等の理由により、復興公営住宅を2戸借りられる方（希望も含む。）は、＜2世帯目＞の列にもお答えください。

※分散入居がない（希望しない）場合は、＜2世帯目＞の列では、「13. 分散して入居しない」を選択してください。

※現在ご一緒にお住まいの家族について、ご記入ください。

＜1世帯目＞

（1）市町村名を教えてください。

（2）入居する際の家族構成をご記入ください。（人数で回答）

＜2世帯目＞

（1）市町村名を教えてください。

（2）入居する際の家族構成をご記入ください。（人数で回答）

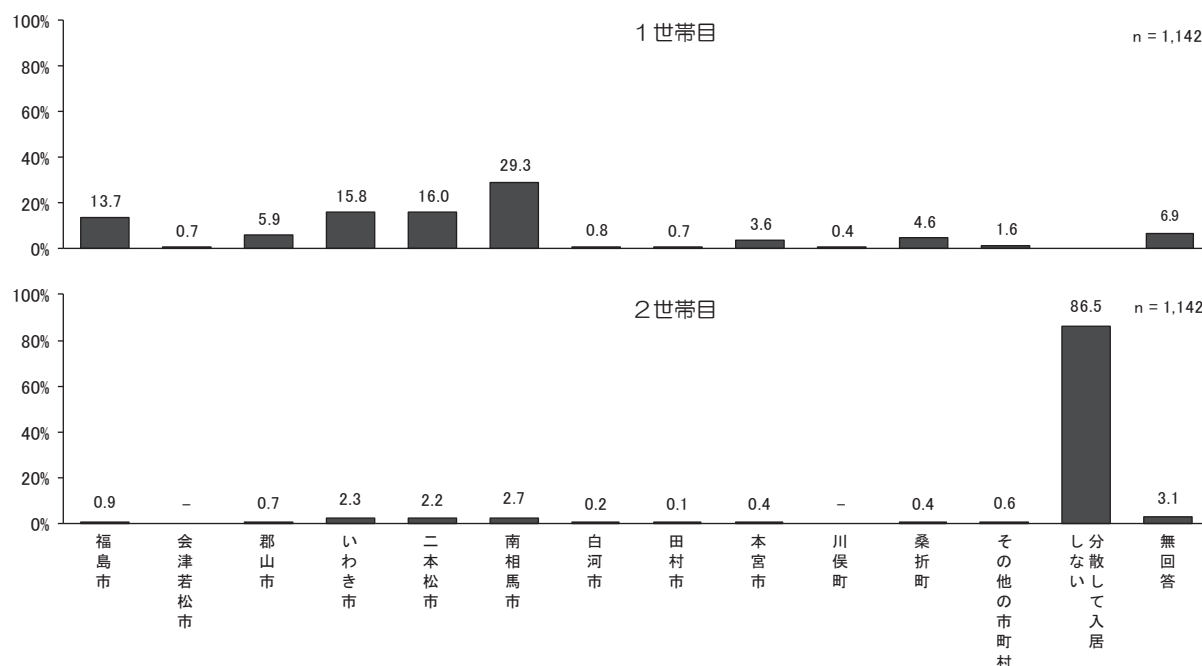
＜1世帯目＞の復興公営入居への入居を希望する自治体については、「南相馬市」が29.3%と最も高く、次いで、「二本松市」が16.0%、「いわき市」が15.8%となっている。

入居を希望する世帯構成（1世帯目）については、「65歳以上のいる世帯」が60.0%と最も高く、次いで「18歳以上65歳未満のいる世帯」が49.6%となっている。世帯人数（1世帯目）については、「2人」が38.9%で最も高く、次いで「1人」が31.9%となっている。

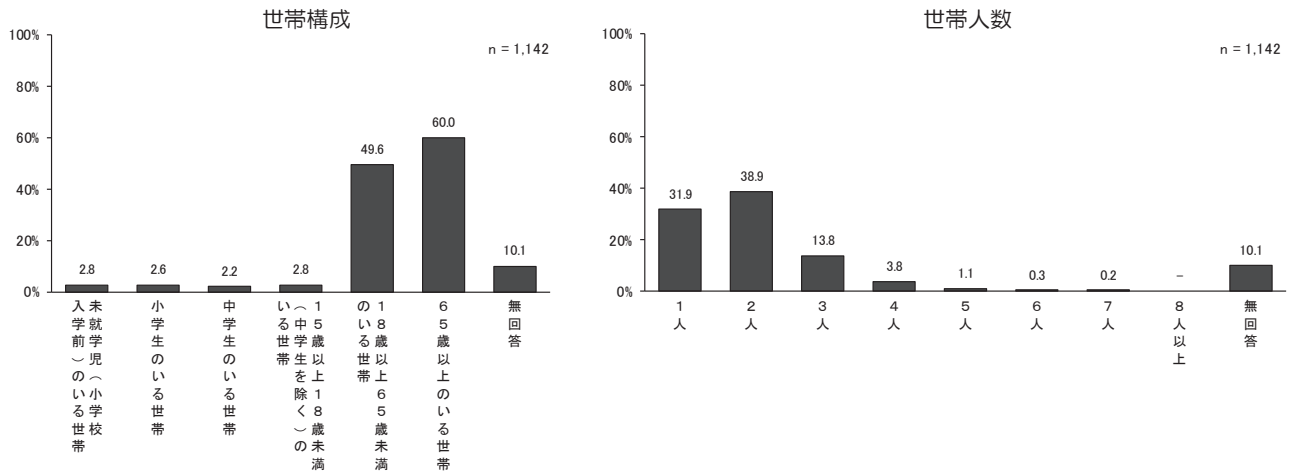
＜2世帯目＞の復興公営住宅への入居を希望する自治体については、「南相馬市」が2.7%と最も高く、次いで、「いわき市」（2.3%）、「二本松市」（2.2%）となっている。

入居を希望する世帯構成（2世帯目）については、「18歳以上65歳未満のいる世帯」が48.7%と最も高く、次いで「65歳以上のいる世帯」が34.5%となっている。世帯人数（2世帯目）については、「1人」が34.5%で最も高く、次いで「2人」が29.4%となっている。

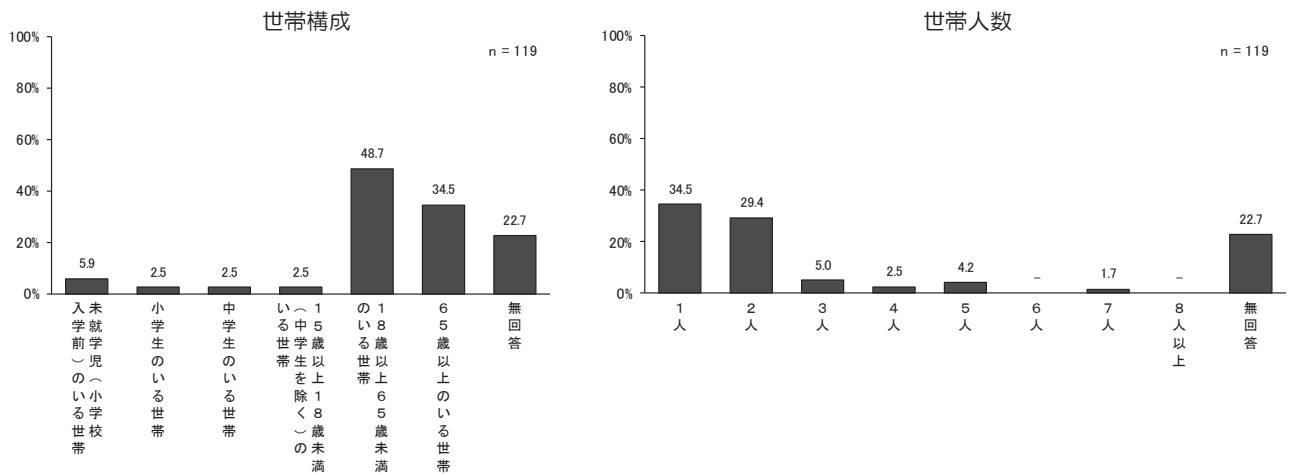
＜図表3-2-2-1 入居を希望する自治体＞



<図表3-2-2-2 入居を希望する世帯構成・人数（1世帯目）>

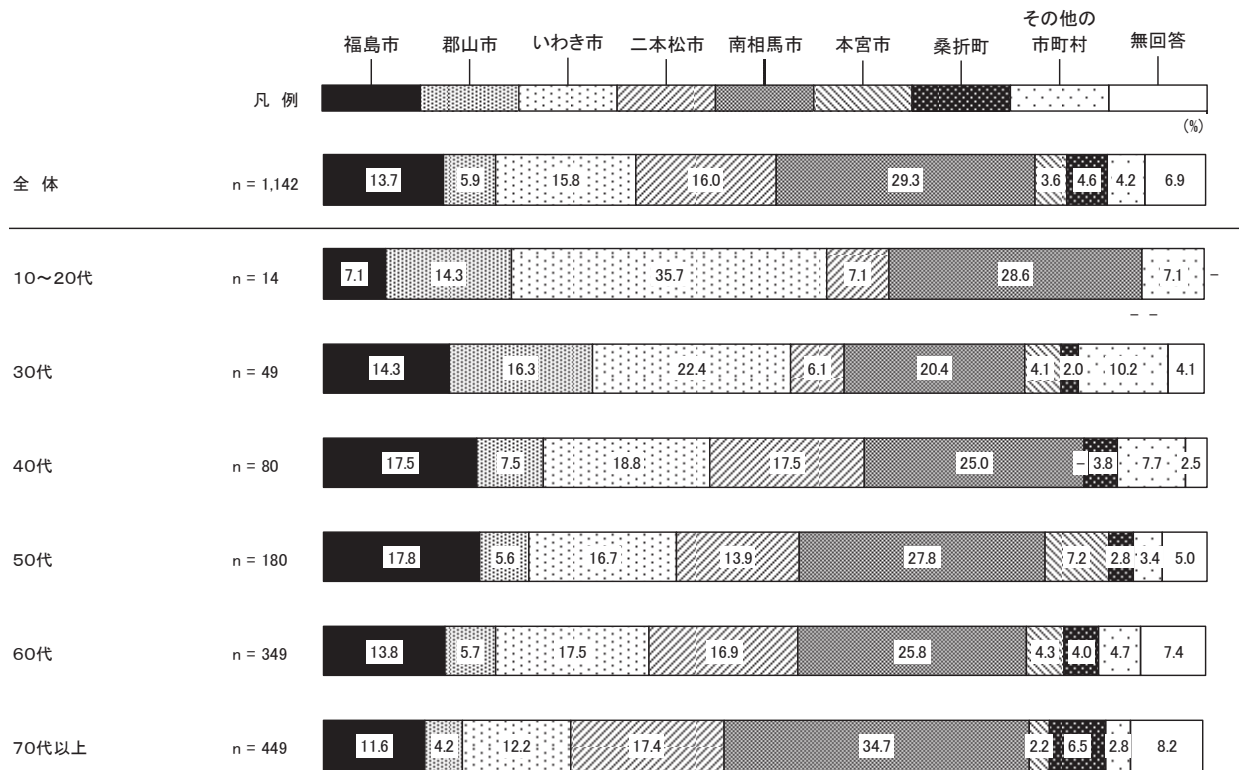


<図表3-2-2-3 入居を希望する世帯構成・人数（2世帯目）>



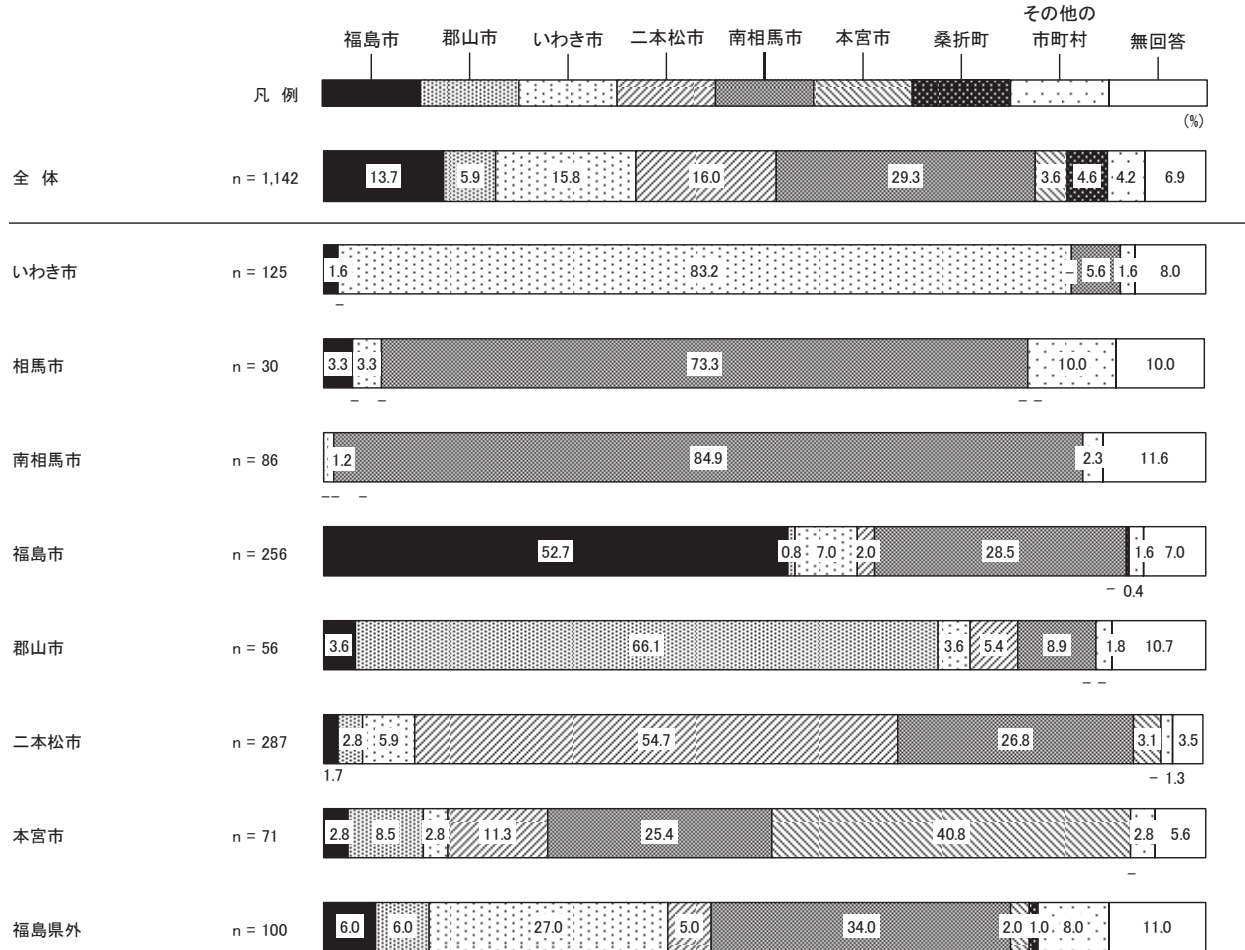
復興公営住宅への入居を希望する主な自治体（1世帯目）について、回答者の年齢別にみると、40代以上では「南相馬市」が最も高くなっているのに対し、30代では「いわき市」が最も高い。

<図表3-2-2-4 入居を希望する主な自治体（1世帯目）（年齢別）>



復興公営住宅への入居を希望する主な自治体（1世帯目）について、現在の主な避難先自治体別にみると、いずれの自治体でも避難先の自治体における入居を希望する割合が高い。また、福島県外に避難している世帯では、「南相馬市」（34.0%）、「いわき市」（27.0%）への入居を希望する割合が高い。

＜図表3-2-2-5 入居を希望する主な自治体（1世帯目）（主な避難先自治体別）＞



3-2-3 復興公営住宅へ入居する場合に必要なと考えるサービス

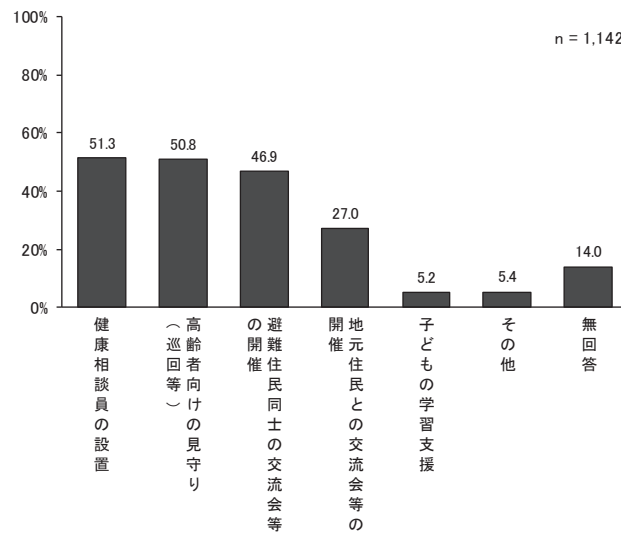
【復興公営住宅へ既に当選または入居が決定している方、入居の申し込み中である方、今後、入居申し込みしたい方（問9で「1」、「2」、「3」と回答した方）にうかがいます。】

問9-2 復興公営住宅に入居する場合に、サービスとして必要だと思うものは何ですか。（〇は3つまで）

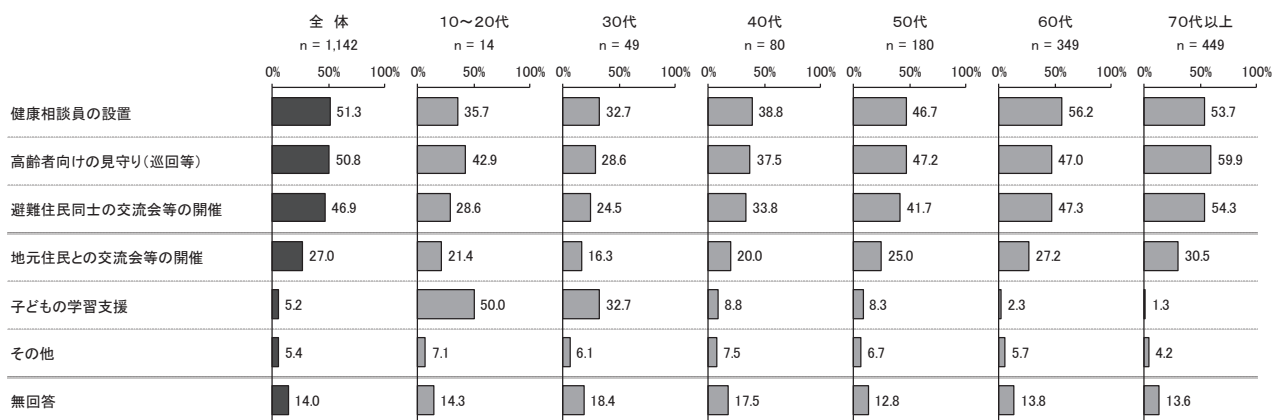
復興公営住宅に入居する場合に必要なと考えるサービスについては、「健康相談員の設置」が51.3%と最も高く、次いで、「高齢者向けの見守り（巡回等）」が50.8%となっている。

回答者の年齢別にみると、「健康相談員の設置」は60代以上が、「高齢者向けの見守り（巡回等）」、「避難住民同士の交流会等の開催」は70代以上が、5割を超えている。一方、「子どもの学習支援」は30代が32.7%と他の年齢に比べ高くなっている。

<図表3-2-3-1 復興公営住宅へ入居する場合に必要なと考えるサービス>



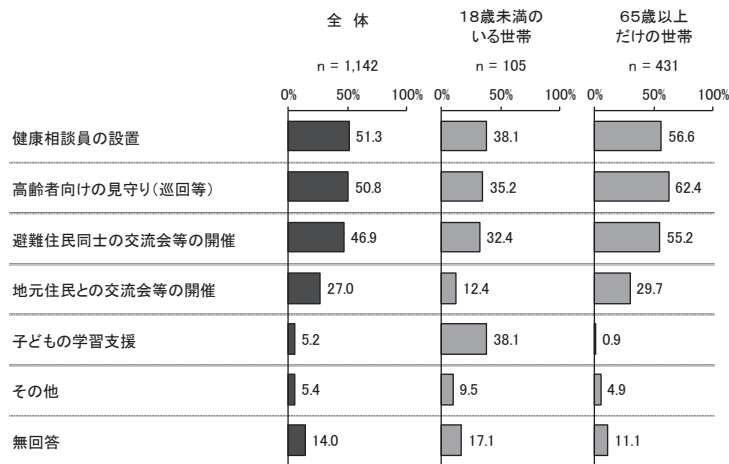
<図表3-2-3-2 復興公営住宅へ入居する場合に必要なと考えるサービス（年齢別）>



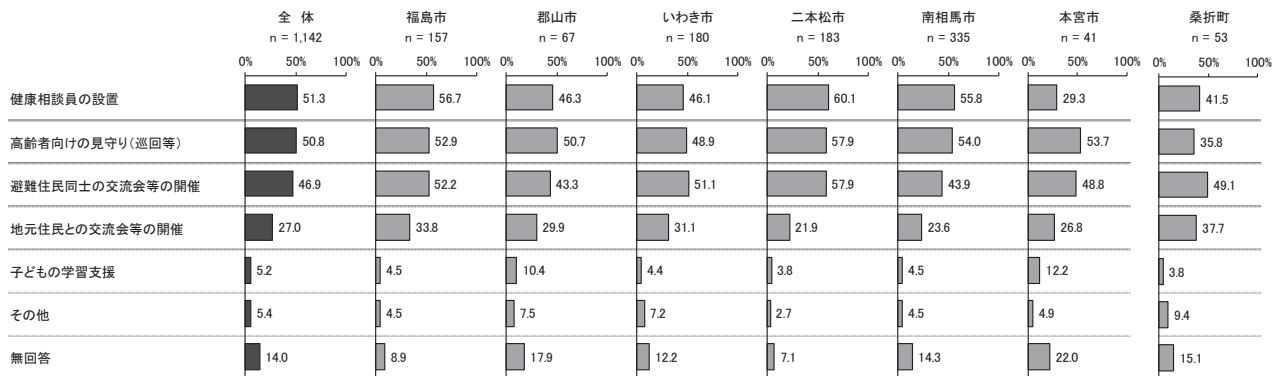
世帯構成別にみると、65歳以上だけの世帯では「健康相談員の設置」が56.6%、「高齢者向けの見守り（巡回等）」が62.4%、「避難住民同士の交流会等の開催」が55.2%、「地元住民との交流会等の開催」が29.7%と、全体の割合に比べ高くなっている。一方、18歳未満のいる世帯では、「子どもの学習支援」が38.1%と高くなっている。

入居を希望する主な自治体別にみると、福島市、二本松市、南相馬市では「健康相談員の設置」が最も高く、郡山市、本宮市では「高齢者向けの見守り（巡回等）」、いわき市、桑折町では「避難住民同士の交流会等の開催」が最も高くなっている。

＜図表3-2-3-3 復興公営住宅へ入居する場合に必要と考えるサービス（世帯構成別）＞



＜図表3-2-3-4 復興公営住宅へ入居する場合に必要と考えるサービス（入居を希望する主な自治体別）＞



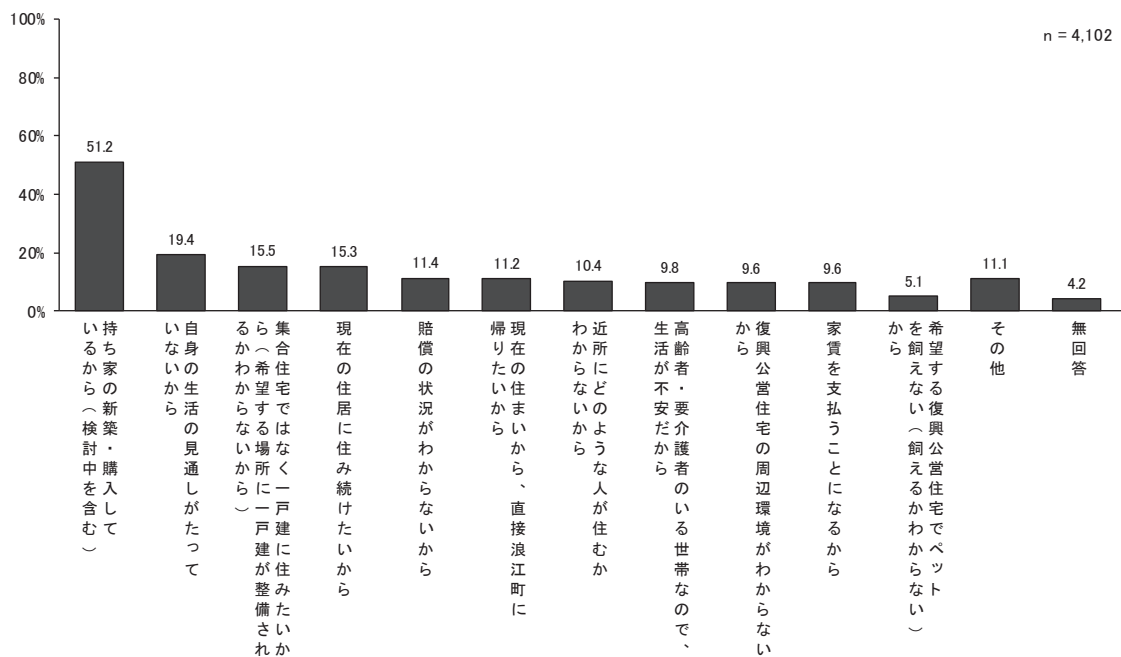
3-2-4 復興公営住宅への入居を現時点で判断できない、希望しない理由

【問9で「4.現時点では判断できない」「5.入居を希望しない」と回答した方うかがいます。】

問9-3 復興公営住宅への入居について、現時点で判断できない、または入居を希望しない理由は何ですか。(〇はいくつでも)

復興公営住宅への入居を現時点で判断できない、希望しない理由については、「持ち家の新築・購入しているから(検討中を含む)」が51.2%で最も高く、次いで「自身の生活の見通しがたっていないから」が19.4%、「集合住宅ではなく一戸建に住みたいから(希望する場所に一戸建が整備されないから)」が15.5%となっている。

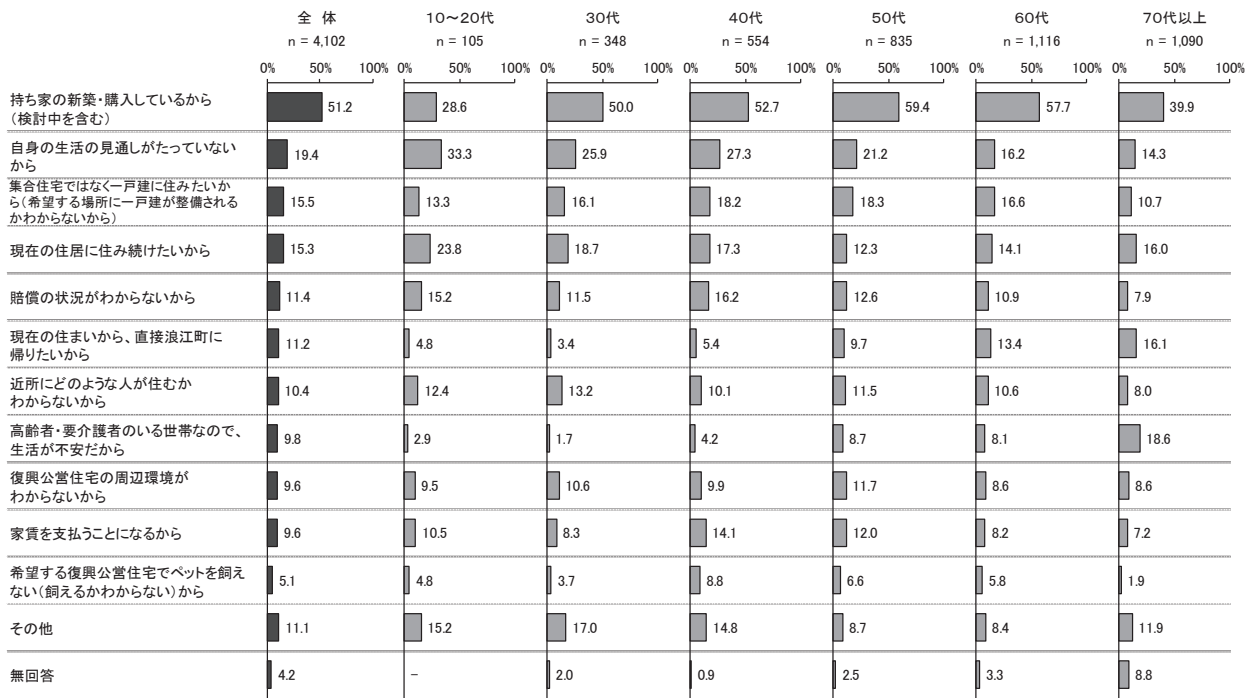
<図表3-2-4-1 復興公営住宅への入居を現時点で判断できない、希望しない理由>



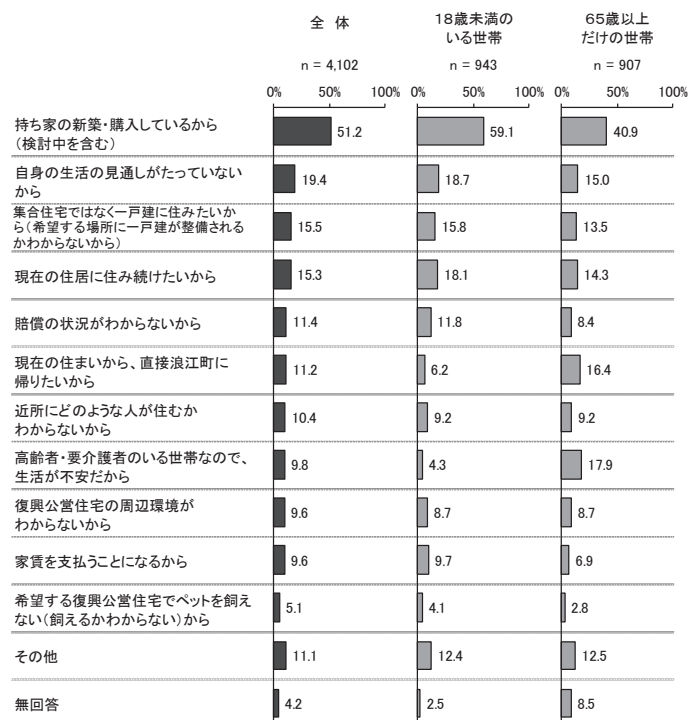
回答者の年齢別にみると、「持ち家の新築・購入しているから（検討中を含む）」は50代（59.4%）、60代（57.7%）で高い。「自身の生活の見通しがたっていないから」は10～20代（33.3%）で高くなっている。

世帯構成別にみると、「持ち家の新築・購入しているから（検討中を含む）」は18歳未満のいる世帯で59.1%と全体の割合に比べ高くなっている。一方、「現在の住まいから、直接浪江町に帰りたいから」（16.4%）、「高齢者・要介護者のいる世帯なので、生活が不安だから」（17.9%）は65歳以上の世帯の割合が高くなっている。

＜図表3-2-4-2 復興公営住宅への入居を現時点で判断できない、希望しない理由（年齢別）＞



＜図表3-2-4-3 復興公営住宅への入居を現時点で判断できない、希望しない理由（世帯構成別）＞



3-2-5 復興公営住宅へ入居しない場合に希望する住居形態

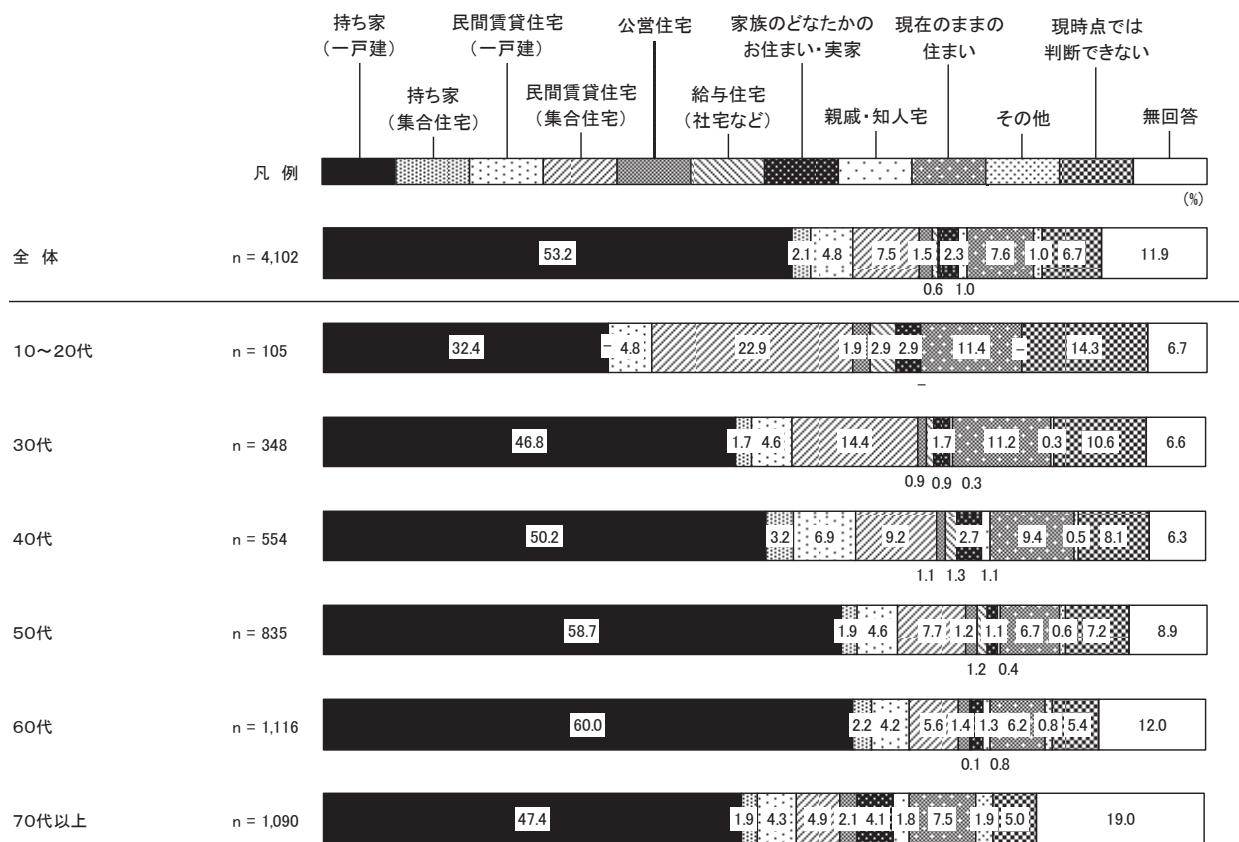
【問9で「4.現時点では判断できない」「5.入居を希望しない」と回答した方にかがいます。】

問9-5 避難指示解除前までのお住まいとして、希望する（既に居住している場合を含む）住宅はどのような形態ですか。（〇は1つ）

復興公営住宅への入居を希望しない場合の今後の住まいとして希望する住居形態については、「持ち家（一戸建）」が53.2%と最も高く、次いで、「現在のままの住まい」が7.6%、「民間賃貸住宅（集合住宅）」が7.5%となっている。

回答者の年齢別にみても、「持ち家（一戸建）」がいずれの年齢も最も高くなっている。

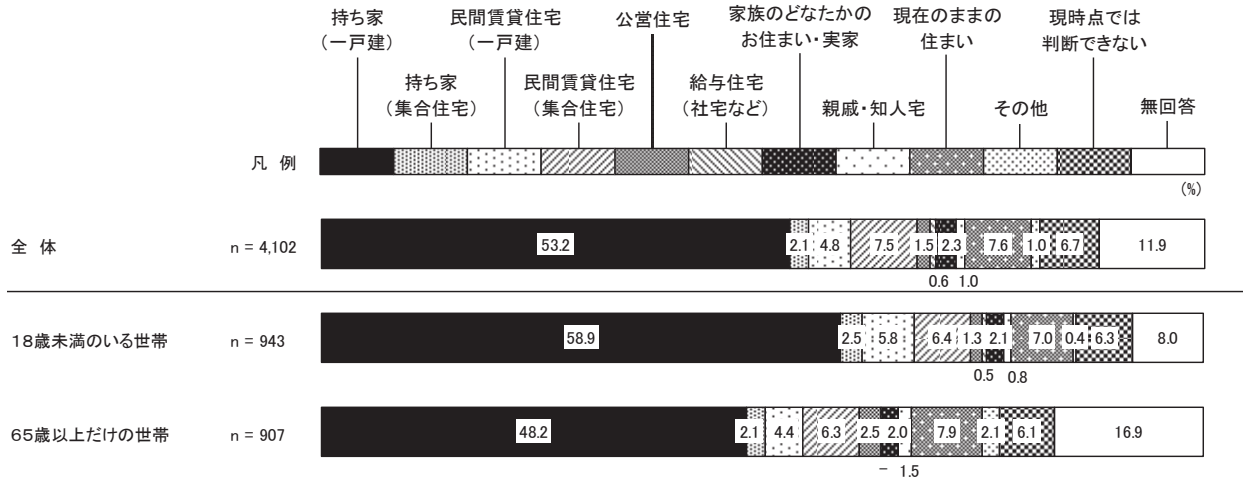
<図表3-2-5-1 復興公営住宅へ入居しない場合に希望する住居形態（年齢別）>



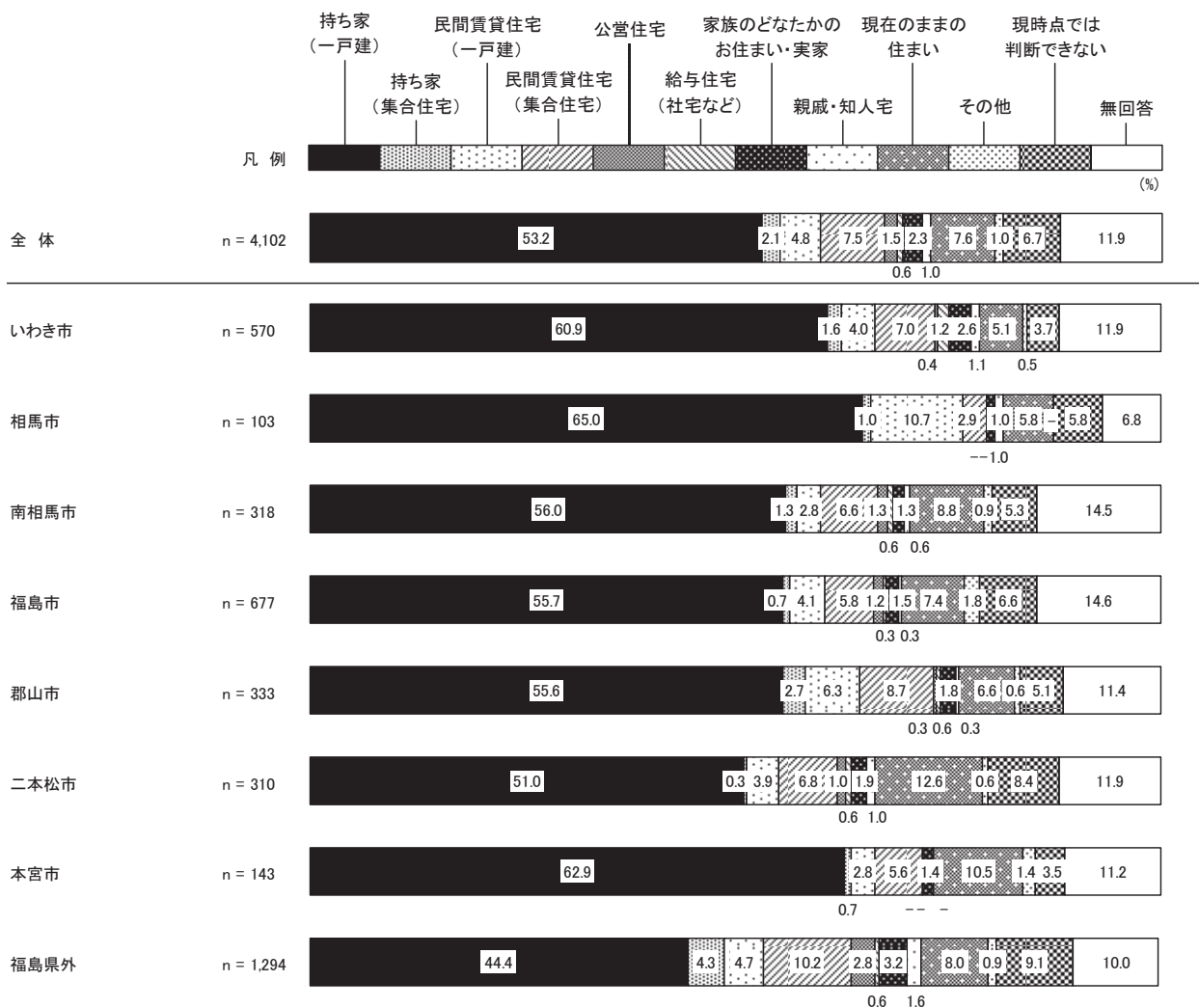
世帯構成別にみると、「持ち家（一戸建）」は18歳未満のいる世帯で58.9%と高くなっている。

主な避難先自治体別にみると、いわき市、相馬市、本宮市では、「持ち家（一戸建）」を希望している割合が6割を超えている。

<図表3-2-5-2 復興公営住宅へ入居しない場合に希望する住居形態（世帯構成別）>



<図表3-2-5-3 復興公営住宅へ入居しない場合に希望する住居形態（主な避難先自治体別）>



3-2-6 避難指示解除までの住まいの動き

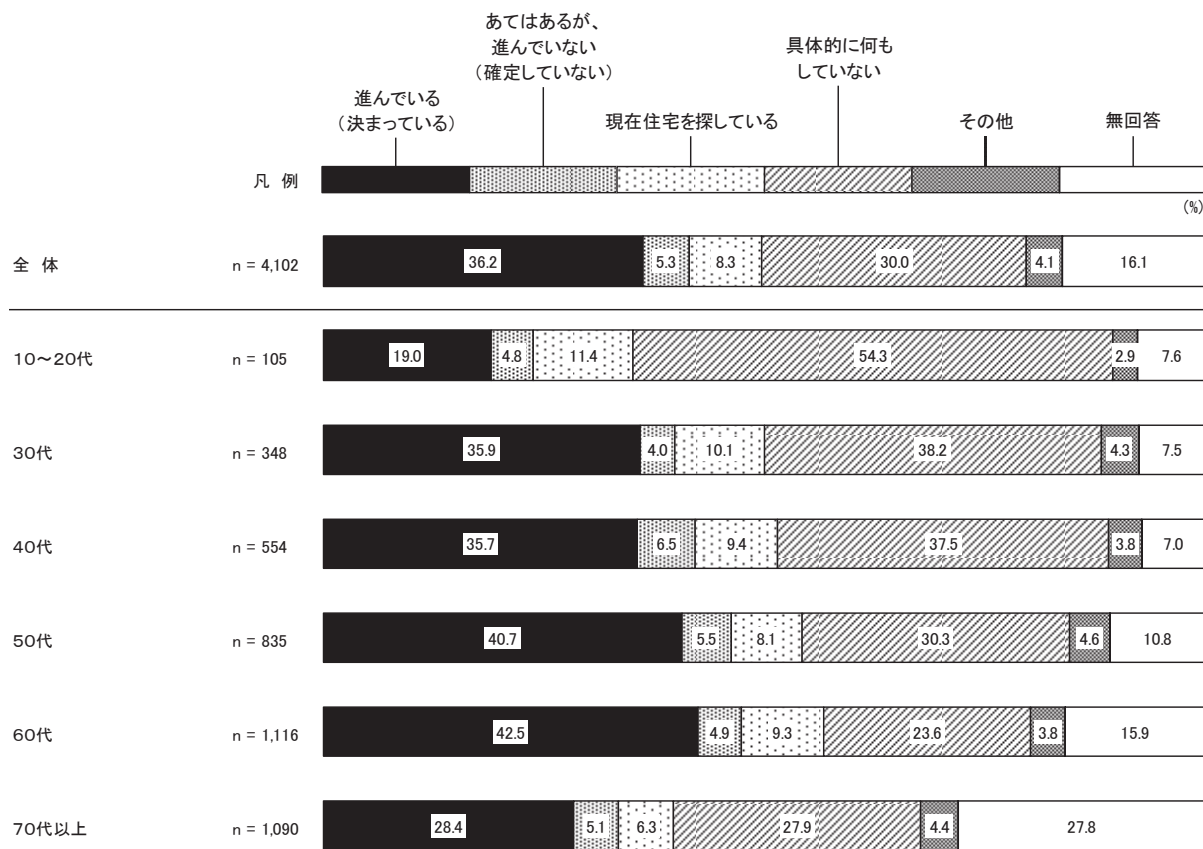
【問9で「4.現時点では判断できない」「5.入居を希望しない」と回答した方にうかがいます。】

問9-6 避難指示解除前までのお住まいについての動きはありますか。(〇は1つ)

避難指示解除までの住まいの動きについては、「進んでいる(決まっている)」が36.2%と最も高く、次いで、「具体的に何もしていない」が30.0%、「現在住宅を探している」が8.3%となっている。

回答者の年齢別にみると、「進んでいる(決まっている)」は50代、60代で4割以上と高くなっている。一方、「具体的に何もしていない」は10~20代が54.3%と過半数を占めている。

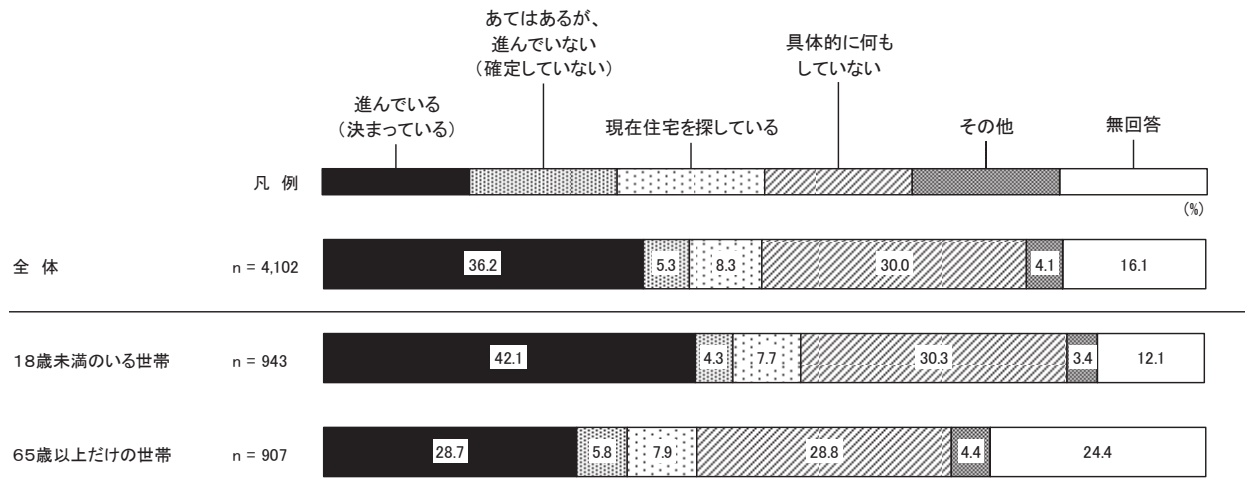
<図表3-2-6-1 避難指示解除までの住まいの動き(年齢別)>



III 調査結果

世帯構成別にみると、「進んでいる（決まっている）」は 18 歳未満のいる世帯が 42.1%と高くなっている。

<図表3-2-6-2 避難指示解除までの住まいの動き（世帯構成別）>



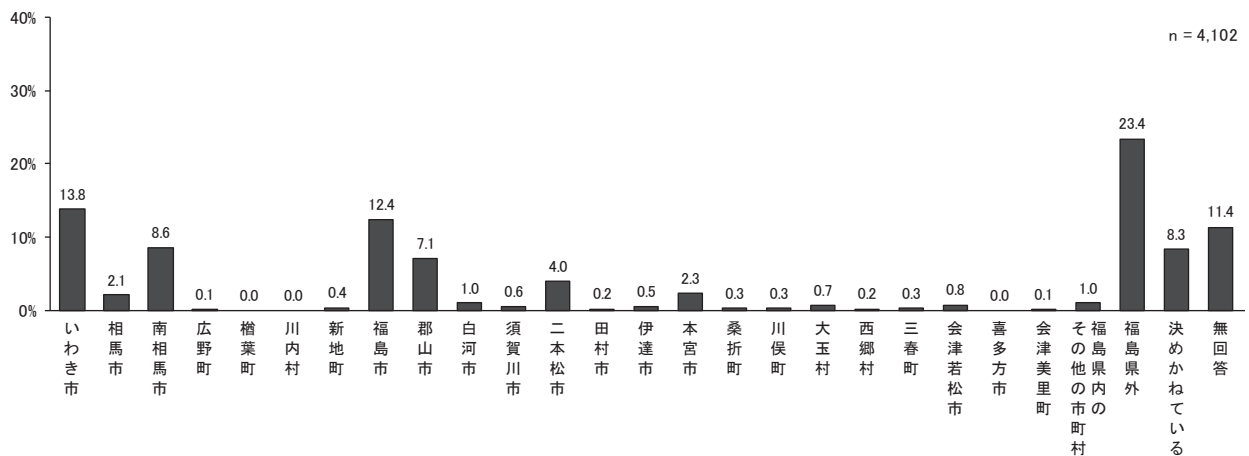
3-2-7 復興公営住宅への入居を希望しない場合に居住したい自治体

【問9で「4.現時点では判断できない」「5.入居を希望しない」と回答した方にかがいます。】

問9-4 入居を希望しない場合、避難指示解除前までに居住を希望する市町村（現在のお住まいのままの方は現在の市町村）はどちらですか。その市町村を教えてください。（〇は1つ）

復興公営住宅への入居を希望しない場合に居住したい自治体については、「福島県外」が23.4%と最も高く、次いで、「いわき市」が13.8%、「福島市」が12.4%となっている。

<図表3-2-7-1 入居を希望しない場合に居住したい自治体>



III 調査結果

主な避難先自治体別にみると、現在いわき市に避難している世帯の80.7%が同じ「いわき市」への居住を希望しており、同じ自治体への居住を希望する割合は、郡山市（75.4%）、南相馬市（74.8%）、福島市（69.6%）、二本松市（52.3%）と比べて高くなっている。一方、福島県外に避難している世帯の69.5%が同じ福島県外への居住を希望しているが、「決めかねている」世帯も14.9%となっており、他の避難先自治体と比べ高くなっている。

<図表3-2-7-2 入居を希望しない場合に居住したい主な自治体（主な避難先自治体別）>

